

問題摘出
総ざらえ

これが本誌が追及してきた「政治とカネ」の本質だ

官房機密費マスコミ汚染問題

5つの論点

朝日新聞「紙面モニター」欄のまやかし記事を論駁する

政治や行政を監視し、チェックするはずの記者たちが、官邸から金品を受け取っていた。その彼らが書く記事は、はたして信じるに値するのだろうか。官房機密費マスコミ汚染問題は、

私たちが正しいだろうと信じていたニュースが、はじめから歪められているのではないかとという深刻な問題をほらむ。本誌がこれまで追及してきたマスコミ汚染問題の本質を改めて記す。

官房機密費マスコミ汚染問題の追及を始めてから約3か月が過ぎた。国民の官房機密費問題への関心は高まる一方で、新聞・テレビへの問い合わせがひっきり

なしだという。ひたすら騒ぎが沈静化するのを待っていた新聞・テレビにとっては想定外の事態だろう。そんななか、朝日新聞がようやく重い腰を上げた。読者からの声に報道・編成

上杉 隆 (ジャーナリスト) と本誌取材班